

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

「心豊かで がんばる子」

- 進んで学習する子（知）
- 思いやりのある子（徳・コミュニケーション）
- 健康で明るい子（体）

## ＜本年度の学力向上策＞

- 1 基礎・基本の確実な定着
  - ・授業力を高める校内研修
  - ・指導課程の改善の徹底、適用問題の確実な実施
  - ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業の推進（考え、話し合い、学び合うことができる時間の十分な確保）
  - ・個別指導や少人数指導など、個に応じた指導の充実
  - ・ノート指導の推進（ノートガイダンスの実施）
  - ・「田島算数検定」、算数タイム等の継続と充実
- 2 学力向上のための家庭との連携
  - ・「田島小家庭学習の手引き」の作成と配付
  - ・家庭学習の量と質を高める（少なくとも学年×10分）
  - ・学習通信「田島小ののびしろ」の配付（本校の課題を家庭に周知）
- 3 学習規律と学習意識の確立
  - ・言語環境の適正化
  - ・「自ら考え、感じ、行動する」主体的な学習態度の育成
- 4 学力や生活状況に関する調査の経年比較結果に基づいた指導の改善
  - ・全国学力・学習状況調査、市学習状況調査、学校評価等の分析と活用
- 5 日常的な読書活動の推進
  - ・年間読書目標冊数の設定と読書記録の作成
  - ・モーニングブックタイムの充実と学校図書館司書、図書ボランティアとの連携

## ＜本年度の振り返り＞

- ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業を推進することにより、児童の学習に対する意欲や理解がより一層深まり、互いに学び合う姿が見られた。
- ・授業での習熟の時間の充実や「田島小算数検定」の実施により、市学習状況調査における算数の同一集団経年比較では、昨年度を上回る結果となった。反面、国語については下回る学年もあるため、課題をより明らかにして次年度の指導に生かしていく。
- ・学校だよりや学習通信「田島小ののびしろ」の配付、「田島算数検定」の実施等により、家庭学習の啓発に努めたが、学校評価アンケートによる保護者や児童の意識に大きな変化は見られなかった。取組を更に充実させていく必要がある。

